



平成26年3月期 第3四半期決算短信 (日本基準) (連結)

平成26年2月7日

上場会社名 中外 鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 葛山 稔

問合せ先責任者 (役職名) Rセンター室長 (氏名) 桜庭 勲

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 未定

TEL 03-3201-1541

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,214	28.2	318		364		724	
25年3月期第3四半期	14,225	31.7	1,092		1,095		141	

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 365百万円 (%) 25年3月期第3四半期 985百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	2.50	
25年3月期第3四半期	0.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	10,177	7,120	69.5	24.42
25年3月期	9,144	7,819	85.3	26.92

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,073百万円 25年3月期 7,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
25年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期		0.00		0.00	0.00
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,200	32.5	180		250		460		1.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 社（社名） 、 除外 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更 会計上の見積りの変更 修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
 以外の会計方針の変更 ： 無
 会計上の見積りの変更 ： 無
 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	289,747,982 株	25年3月期	289,747,982 株
26年3月期3Q	90,859 株	25年3月期	88,508 株
26年3月期3Q	289,658,315 株	25年3月期3Q	289,659,824 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策や経済政策の波及効果を背景に、個人消費の増加や設備投資の需要回復等、景気に持ち直しの動きが見られるものの、欧州経済の停滞、中国を始めとする新興国経済の減速等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は、6月下旬に量的緩和早期縮小懸念に伴い大幅に下落したものの、資産保全としての有用性が再認識されたことによりその後は上昇基調で推移いたしました。売上高においては金原料の集荷量が当初見込みを大きく下回ったことから低調に推移いたしました。宝飾市況においては、個人消費の本格的な回復が見込めず、厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や消費税率引上げに伴う駆け込み需要等、住宅購買意欲は回復基調にあるものの、資金調達環境に改善の兆しはみられず、依然厳しい状況のもと推移いたしました。機械事業においては、米国市場は堅調に推移したものの、中国及びアジアをはじめとする新興国の成長鈍化等が影響し、中古工作機械業界においても厳しい受注環境のもと推移いたしました。投資事業においては、金先物価格が低調に推移したことから評価損を計上したものの、当連結会計年度第1四半期に運用益を計上したことが寄与し、堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期の売上高は10,214,132千円(前年同四半期14,225,739千円)、営業損益は318,597千円の損失(前年同四半期の1,092,134千円の利益)、経常損益は364,414千円の損失(前年同四半期1,095,971千円の利益)、四半期純損益は724,536千円の損失(前年同四半期141,257千円の利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は7,071,300千円(前年同四半期10,306,403千円)、営業損益は169,511千円の損失(前年同四半期186,602千円の損失)となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は831,428千円(前年同四半期775,008千円)、営業損益は45,074千円の損失(前年同四半期55,535千円の損失)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は441,676千円(前年同四半期274,985千円)、営業損益は123,106千円の損失(前年同四半期28,658千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は1,403,734千円(前年同四半期1,145,907千円)、営業損益は50,623千円の損失(前年同四半期44,446千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、売上高は430,131千円(前年同四半期1,723,434千円)、営業損益は406,678千円の利益(前年同四半期1,707,493千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より1,032,539千円増加し、当第3四半期末は、10,177,262千円となりました。

増加の主なものは商品及び製品の増加(571,112千円から994,285千円へ423,173千円の増加)、預け金の増加(200,300千円から4,372,756千円へ4,172,456千円の増加)、であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(3,456,377千円から680,484千円へ2,775,892千円の減少)、貸付商品の減少(679,348千円の減少)であります。

当第3四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より1,730,968千円増加し、当第3四半期末は、3,056,620千円となりました。

増加の主なものは、短期借入金の増加(1,050,000千円の増加)、デリバティブ債務の増加(6,927千円から781,539千円へ774,612千円の増加)であります。

当第3四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より698,429千円減少し、当第3四半期末は、7,120,642千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少(△4,953,428千円から△5,677,965千円へ724,536千円の減少)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、貴金属取引において、金地金原料集荷量が当初想定を大きく下回ったことから、金地金生産量及び販売量が減少し、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が前回見込から大幅に減少いたしました。この結果、前回(平成25年5月10日)公表いたしました業績予想を修正しております。他方、東京商品取引所東京金先物の投資取引を継続しており、貴金属価格の動向により業績は大きく影響を受ける状況にあります。予想値に変更が生じた際には、確定次第速やかに公表いたします。

詳細につきましては、本日開示しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,456,377	680,484
売掛金	16,072	5,095
商品及び製品	571,112	994,285
仕掛品	141,608	22,744
原材料及び貯蔵品	38,915	5,990
販売用不動産	297,611	—
仕掛不動産	369,285	409,794
貸付商品	679,348	—
預け金	200,300	4,372,756
デリバティブ債権	30,552	148,542
その他	110,719	112,122
流動資産合計	5,911,903	6,751,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,143,637	1,358,025
減価償却累計額	△345,301	△401,133
建物及び構築物（純額）	798,336	956,891
機械装置及び運搬具	570,066	662,140
減価償却累計額	△375,180	△410,461
機械装置及び運搬具（純額）	194,886	251,679
土地	1,550,882	1,548,580
建設仮勘定	19,352	—
その他	121,781	127,245
減価償却累計額	△91,541	△99,452
その他（純額）	30,239	27,792
有形固定資産合計	2,593,697	2,784,944
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	1,865	5,266
無形固定資産合計	366,865	370,266
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	149,582	147,380
その他	11,523	11,703
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	272,257	270,235
固定資産合計	3,232,819	3,425,446
資産合計	9,144,723	10,177,262

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,228	11,365
短期借入金	—	1,050,000
1年内返済予定の長期借入金	148,255	151,598
未払金	46,401	68,979
未払法人税等	50,070	7,689
デリバティブ債務	6,927	781,539
その他	26,883	32,461
流動負債合計	281,766	2,103,633
固定負債		
長期借入金	808,020	703,260
長期未払金	9,000	3,600
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	23,291	21,841
繰延税金負債	19,200	36,899
資産除去債務	177,339	180,353
固定負債合計	1,043,885	952,987
負債合計	1,325,651	3,056,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△4,953,428	△5,677,965
自己株式	△30,941	△31,019
株主資本合計	7,797,695	7,073,079
少数株主持分	21,376	47,562
純資産合計	7,819,071	7,120,642
負債純資産合計	9,144,723	10,177,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,225,739	10,214,132
売上原価	12,074,278	9,404,067
売上総利益	2,151,460	810,065
販売費及び一般管理費	1,059,325	1,128,662
営業利益又は営業損失(△)	1,092,134	△318,597
営業外収益		
受取利息	105	123
国庫補助金収入	66,224	45,186
為替差益	—	5,655
その他	4,707	5,531
営業外収益合計	71,037	56,497
営業外費用		
支払利息	10,144	20,528
休山管理費	56,421	76,770
その他	634	5,016
営業外費用合計	67,200	102,314
経常利益又は経常損失(△)	1,095,971	△364,414
特別利益		
固定資産売却益	—	36,555
その他	—	4,488
特別利益合計	—	41,044
特別損失		
減損損失	74,467	—
その他	—	4,402
特別損失合計	74,467	4,402
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,021,504	△327,772
法人税、住民税及び事業税	22,936	19,712
法人税等調整額	12,994	17,698
法人税等合計	35,931	37,411
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	985,573	△365,183
少数株主利益	844,315	359,353
四半期純利益又は四半期純損失(△)	141,257	△724,536

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	985,573	△365,183
四半期包括利益	985,573	△365,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,257	△724,536
少数株主に係る四半期包括利益	844,315	359,353

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貴金属 事業	宝飾 事業	不動産 事業	機械 事業	投資 事業				
売上高									
(1) 外部顧客 への売上 高	10,306,403	775,008	274,985	1,145,907	1,723,434	—	14,225,739	—	14,225,739
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	12,050	—	—	—	12,050	△12,050	—
計	10,306,403	775,008	287,036	1,145,907	1,723,434	—	14,237,789	△12,050	14,225,739
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△186,602	△55,535	△28,658	△44,446	1,707,493	△72,492	1,319,757	△227,622	1,092,134

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究開発関連を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△227,622千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△227,622千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「貴金属事業」セグメント6,120千円、「不動産事業」セグメント47,183千円、「機械事業」セグメント21,162千円を減損損失としてそれぞれ計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては74,467千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貴金属 事業	宝飾 事業	不動産 事業	機械 事業	投資 事業				
売上高									
(1) 外部顧客 への売上 高	7,071,300	831,428	441,676	1,403,734	430,131	35,862	10,214,132	—	10,214,132
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	12,050	—	—	—	12,050	△12,050	—
計	7,071,300	831,428	453,726	1,403,734	430,131	35,862	10,226,183	△12,050	10,214,132
セグメント利益 又はセグメント 損失 (△)	△169,511	△45,074	△123,106	△50,623	406,678	△95,879	△77,515	△241,081	△318,597

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企画開発関連及び研究開発関連を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△241,081千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△241,081千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更等)

第2四半期連結会計期間から、「調整額」に含まれていた企画開発関連及び研究開発関連を事業セグメントとしたため、「その他」の区分に記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の区分に基づき作成したものを開示しております。